

無償資金協力：「カーボデルガード州国道380号線橋梁整備計画」

2017年5月5日

在モザンビーク日本大使館

1 4月28日、当地JICA事務所須藤所長とモンドラーネ外務協力副大臣との間で、モザンビーク北部のカーボデルガード州を南北に横断する国道380号線橋梁整備計画のための無償資金協力の贈与契約（Grant Agreement: G/A）への署名式典が行われました。

参考リンク：[モザンビーク向け無償資金贈与契約の締結：ナカラ回廊上の老朽化した3橋梁の架け替えにより物流の円滑化に貢献（JICA）](#)

2 本事業は34億1,900万円を限度額とした国道380号線上の3つの橋梁（メサロI橋、メサロIII橋、マプエデ橋：合計350m）の改修を行うプロジェクトで、同州及び近隣諸国の経済活性化、モザンビーク中部・北部の道路網の発展に寄与するものです。

3 自然災害の影響を受けやすいモザンビークは、雨期には越流によって橋の通行ができなくなることも多くあります。この協力によって、同地域における物流の円滑化及び地域住民の生活改善等が期待されています。

4 尚、本計画は当国のニュシ大統領が今年3月に日本を公式訪問した際、水谷駐モザンビーク日本国大使（当時）とモライス駐日モザンビーク大使の間で交わされた交換公文（Exchange Note: E/N）に基づく無償資金協力です。こうしたモザンビークへの開発協力支援を通じて、日本とモザンビークの友好協力を一層強化していきます。

参考リンク：[モザンビークに対する無償資金協力に関する書簡の交換（外務省）](#)